

ANNUAL REPORT

2020

社会福祉法人 光仁会 富竹の里
KOUJINKAI TOMITAKENOSATO

KOUJINKAI **TOMITAKENOSATO** **ANNUAL REPORT** **2020**

法人沿革 Corporation History ... 3

法人概要 Corporation Profile ... 6

経営理念 Management Philosophy ... 7

倫理行動規範 Code of business conduct and ethics ... 7

TOPICS ... 8

- 1 サービスの質向上、法令遵守の取り組みを振り返る
- 2 地域貢献の取り組みを振り返る
- 3 人材育成の取り組みを振り返る
- 4 地域とのつながりを振り返る
- 5 危機管理体制の取り組みを振り返る
- 6 働きやすい職場環境整備の取り組みを振り返る
- 7 看取り介護の取り組みを振り返る

DATA ... 17

財務ハイライト Financial highlights ... 20

公正な事業慣行 Fair business practices ... 21

各事業所 TOPICS ... 22

令和2年（2020）7月豪雨 ... 26

法人沿革 Corporation History

起源 Origin

1986年（昭和61年）に「社会福祉法人光仁会富竹の里」は誕生しました。当時は、戦後の医療技術の進歩、食生活の向上、国民皆保険制度の確立などにより、人生80年時代を迎え、世の中は高齢化社会の時代。長野市においても高齢者数は約3万6千人と人口の約10%を超え、認知症や寝たきりの高齢者の介護を真剣に考えなければならぬときでした。このような状況に鑑み、特別養護老人ホーム富竹の里を建設、運営し、社会的要請にこたえ、老人福祉の向上に寄与することを目的として法人が設立されました。

CHAPTER 1 1986～



社会福祉法人光仁会富竹の里の設立

特別養護老人ホーム富竹の里、富の里
ショートステイホームの開設

CHAPTER 2 1990～



在宅福祉事業への飛躍

デイサービスセンター、ホームヘルプ
サービスの開始
(水戸黄門様出演者御一行様来訪 1993.3)

CHAPTER 3 2000～



介護保険制度施行

地域密着型施設、地域包括支援センターの
開設
富竹の里デイサービスセンターの新築移転

CHAPTER 4 2016～



地域包括ケアに向けて

地域福祉の発展に全力をささげていただ
いた方々への感謝の念を捧げつつ、新た
な時代に向かって歩み始めています。

軌跡を辿る Follow the trajectory

創設期

昭和58年	4月	老人ホーム建設構想検討開始
60年	4月	法人設立準備委員会発足
61年	7月	社会福祉法人光仁会富竹の里設立認可
	8月	特別養護老人ホーム富竹の里建設着工
62年	4月	特別養護老人ホーム富竹の里開所（定員50名）
	7月	短期保護事業開始（定員4名）
63年	2月	在宅寝たきり老人入浴サービス事業開始
	4月	社会福祉士及び介護福祉士方施行

推進期

平成2年	4月	長野市古里デイサービスセンター開所
	6月	社会福祉関係8法の改正
3年	4月	短期保護事業定員2名増（6名） 「家庭奉仕員」が「ホームヘルパー」に改称
5年	5月	介護福祉機器貸付事業開始
6年	8月	富竹クリニック開院
7年12月		短期保護事業定員2名増（8名）
9年10月		長野市在宅介護支援センター富竹の里開所
	11月	富竹の里家族会結成
10年	6月	富竹の里ホームヘルプセンター開所

充実期

平成12年	2月	短期保護事業定員6名増（14名） 機能訓練室等を準個室へ改修 長野市から古里デイサービスセンター無償譲渡
	9月	特別養護老人ホーム富竹の里定員2名増（52名） 富竹の里ショートステイホーム定員2名減（12名） 富竹の里デイサービスセンター定員5名増（25名）
13年	4月	苦情解決相談委員設置
	6月	評議員会制度導入
14年	6月	富竹の里デイサービスセンター定員5名増（30名）
	11月	富竹の里デイサービスセンターホール増設
16年	4月	富竹の里和み開所（定員20名） 特別養護老人ホーム富竹の里定員4名減（48名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名増（16名） 富竹の里デイサービスセンター定員3名増（33名）

変革期

平成18年	4月	高齢者虐待防止法制定 富竹の里介護予防（訪問、通所、短期）3事業所指定
20年	4月	後期高齢者医療制度開始
	10月	介護付有料老人ホーム上松ホーム開所（定員15名）
23年	4月	富竹の里、富竹の里和み スプリングラー運用開始
24年	6月	介護付有料老人ホーム上松ホーム定員9名増（24名）
25年10月		長野市地域包括支援センター富竹の里開所
27年	3月	富竹の里デイサービスセンター移転新築
	7月	介護予防事業（生活らくかる運動塾）開始
28年	1月	旧デイサービスセンターを富竹の里いきいきセンターへ名称変更
	4月	社会福祉法改正
	10月	富竹の里デイサービスセンター定員2名増（35名）
29年	1月	富竹の里デイサービスセンター 通所型基準緩和サービス指定（定員15名）
30年	4月	富竹の里大規模改修工事・多床室プライバシー保護改修工事竣工 介護予防（通所、訪問）が長野市の実施する総合事業へ移行
令和1年12月		富竹の里定員4名増（52名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名減（12名）

2018年4月竣工



特別養護老人ホーム富竹の里は、4人部屋に間仕切りの建具を設置し、プライバシーに配慮された施設です。個室の特養より、低額な料金でご利用いただけます。より一層、皆様のお役に立てる施設を目指します。



地域を支える社会福祉事業を実践します
Social welfare service to support communities

法人概要 Corporation Profile

法人名	社会福祉法人光仁会富竹の里（こうじんかいとみたけのさと）
代表者	理事長 中野 清史（なかの きよし）
所在地	〒381-0006 長野県長野市大字富竹字堰下1621番地（法人登記） TEL (026) 296-7383（代） FAX (026) 296-7384
設立	1986年（昭和61年）8月28日
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
事業内容	社会福祉事業

- 主な事業**
- 【第一種社会福祉事業】
 - ・特別養護老人ホーム事業
 - 【第二種社会福祉事業】
 - ・老人短期入所事業
 - ・老人デイサービス事業
 - ・老人居宅介護等事業
 - ・障害福祉サービス事業（居宅介護、重度訪問介護）
 - ・地域生活支援事業（移動支援事業）
 - 【公益事業】
 - ・居宅介護支援事業
 - ・有料老人ホーム上松ホームを運営する事業
 - ・特定施設入居者生活介護事業
 - ・長野市地域包括支援センター事業
 - ・介護保険法に基づく第一号通所事業

特別養護老人ホーム富竹の里
TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

特別養護老人ホーム富竹の里和み
TEL026-296-7705 FAX026-296-7384
介護付有料老人ホーム上松ホーム
TEL026-237-1660 FAX026-237-1661

長野市地域包括支援センター富竹の里
TEL026-295-7780 FAX026-296-8025

富竹の里ショートステイホーム
TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

富竹の里デイサービスセンター
TEL026-296-2867 FAX026-296-7384

富竹の里ホームヘルプセンター
TEL026-296-7385 FAX026-296-8025

光仁会富竹の里介護支援センター
TEL026-296-8004 FAX026-296-7384



経営理念 Management Philosophy

私達は、

地域に開かれた信頼される施設づくりを目指します。

利用者の人権を尊重し、明るく健康的でやすらぎのあるサービスの提供を目指します。



光仁会の「K」は「光」を意味し、富竹の里の「T」は「人」を意味しています。光仁会の光（羅針盤）が、人（ご利用者、ご家族、地域住民、職員）の心に届く暖かい光（かがやき）を射しています。また、人の足元をてらし道筋を示しています。光仁会の名称は、「愛と輝きをもととして互いに慈しみあう会」という意味です。

倫理行動規範 Code of business conduct and ethics

サービスに関すること

- すべての方に対し、平等で公平な介護サービスに努めます。
- 思いやりをもって、私たち一人ひとりができることを精一杯行います。
- 常に自己研鑽に励み、根拠に基づいた安全で効率的な介護サービスに努めます。
- 専門職として高い倫理観を持って、職務に専念します。

ご利用者の保護等に関すること

- 人権・権利を尊重します。
- 知り得た事柄の守秘義務を厳守し、個人情報適切に取り扱い保護します。
- 原則として身体拘束を行いません。
- 相談苦情は、真摯に受止め、迅速・丁寧・公正に対応します。

チームワークに関すること

- 多様性を尊重し、相手の身になって、相手が不快・不安となる言動を慎みます。
- 簡潔で明確な言い方で相手に伝えます。
- 確認・連絡・報告を徹底します。
- 社会・社内のルールを守ります。
- 知識やアイデアを共有して、お互いの成長を目指します。

環境に関すること

- 省資源・省エネルギー活動を推進します。
- 5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の基本行動により、業務の効率化・質の維持向上・安全管理・教育訓練等の推進に努めます。

1 サービスの質向上、法令遵守の取り組みを振り返る

品質方針書の作成と伝達

理念や倫理行動規範、業務の基準などが記され、サービスの質向上に取り組むための冊子「品質方針書」を制作し、雇用形態に関わらず全スタッフに配布しました。また、職員研修や新規職員採用時等には本書をテキストとして使用し、職員間で統一できるよう取り組みました。



顧客満足度アンケート実施

令和元年度 特別養護老人ホーム富竹の里 満足度アンケート集計結果

このアンケート調査は、富竹の里の業務の改善を促すための調査。お客様の意見を把握することで、今後の事業運営や満足度向上に反映させていただくための貴重な基礎資料とするために実施いたしました。ここに集計結果をご報告させていただきます。ご回答いただきました皆様には御礼申し上げますとともに、今後とも理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

調査項目	満足段階					記号
	満足	やや満足	やや不満	不満	未記入	
1 基本情報	53人中から37人のご回答をいただき、回答率は69.8%となった。 ご本人：0%、ご家族：81%、その他：0%、記入なし：19%					
II 有形性について	2 やや不満 1 不満の理由					
1 建物の印象	62.2%	32.4%	2.7%	0.0%	2.7%	古さが感じられる 見掛けはあまり良いくない
2 建物の雰囲気	67.6%	29.7%	0.0%	0.0%	2.7%	
3 清潔な印象	62.1%	33.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
4 建物の設備	64.9%	27.0%	2.7%	2.7%	2.7%	設備の中の仕切り 2番が使いにくい(実務的に不便)
5 職員の対応	63.8%	36.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
III 信頼性について	2 やや不満 1 不満の理由					
1 事業の進行	89.2%	8.1%	0.0%	0.0%	2.7%	わかりにくい
2 取りになる	86.5%	13.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
3 時間の正確さ	78.4%	18.9%	0.0%	0.0%	2.7%	わかりにくい
IV 応答性について	2 やや不満 1 不満の理由					
1 相談内容	78.4%	18.9%	2.7%	0.0%	0.0%	
2 法律相談・ケア相談	78.7%	17.6%	3.7%	0.0%	0.0%	

社会福祉法人光仁会富竹の里では、毎年、ご利用いただいているお客様の満足度向上への取り組みの一環として、満足度アンケートを実施しています。施設及び在宅ともに多くの項目で90%以上の満足との回答を得ました。結果については、事業所ごとに一つひとつのご質問に返答する形で取りまとめ、ホームページに公表いたしました。

単位 %

事業所名	区分	有形性	信頼性	応答性	確実性	共感性
特養 富竹の里	満足～やや満足	96.8	98.2	98.2	98.2	98.2
	不満～やや不満	1.6	0.0	1.8	1.8	0
	未記入	1.6	1.8	0.0	0	1.8
特養 富竹の里和み	満足～やや満足	98.7	100	100	64.3	92.9
	不満～やや不満	1.3	0.0	0.0	35.7	2.4
	未記入	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7
短期入所	満足～やや満足	96.9	98.2	94.8	100	96.5
	不満～やや不満	3.1	1.7	5.2	0.0	3.5
	未記入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通所介護	満足～やや満足	93.5	94.6	94.3	95.2	94.2
	不満～やや不満	2.6	2.3	2.3	1.6	1.7
	未記入	3.9	3.1	3.4	3.1	4.1
訪問介護	満足～やや満足	40.0	95.0	90.2	92.1	94.1
	不満～やや不満	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
	未記入	60.0	5.0	8.8	7.9	5.9
有料 上松ホーム	満足～やや満足	97.8	100	98.2	98.2	98.1
	不満～やや不満	2.2	0.0	1.8	1.8	0.0
	未記入	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9

2

地域貢献の取り組みを振り返る

つながり Connection



厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現しようとしています。

当法人においても「地域包括ケアシステム」の一員として、地域の支え合い体制づくりや地域住民の方に対する効果的かつ効率的な介護予防支援等を推進するための取り組みを実施しました。

災害福祉 カンタンマップ



Leave no one behind

実証実験参画

【災福カンタンマップ実証実験の概要】

令和元年東日本台風災害では、被災地行政や支援機関と外部支援者間の要支援者情報の包括的な把握が課題となりました。

当法人でも、ご利用者がどこに誰と避難されているのか把握することができず、サービスにつなげるまでに時間を要しました。

この経験をふまえ、福祉・介護事業所等が連携し、平常時と災害時に要配慮者支援をICTの活用により支える「災害福祉カンタンマップ」の実証実験に参加しました。

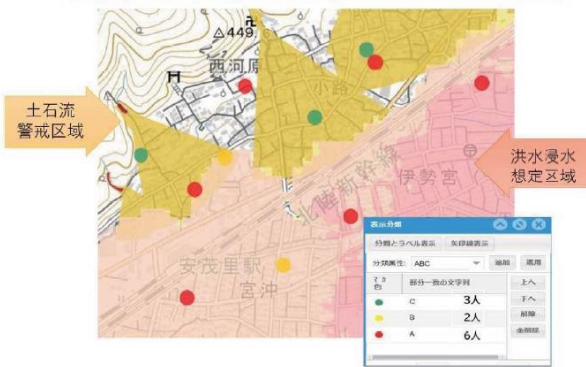
今後、このツールを活用して災害時の個別避難計画づくりや自治会等と連携した災害時支え合いマップづくりの支援につなげます。

施設スペースの無料開放

平成30年12月より開始した、地域住民を対象にした施設スペースの無料開放については、毎週約15名の方が介護予防運動に参加されました。この取り組みをとおして、生涯現役社会の実現に向けた高齢者等の活躍できる地域づくりにつなげることができればと考えています。



構想中の災害福祉カンタンマップ



令和元年度東日本台風では、多くの建物が浸水被害にあいました。活動のできる場所がなくなり、地区コミュニティの維持が困難となるなかで、事業活動の合間に使用できる施設スペースを無料で提供しています。地域の方に寄り添った活動を続けます。

3

人材育成の取り組みを振り返る

キャリアアップ Career advancement



光仁会富竹の里では、新人職員・役職者・専門職員等を対象とした研修を年間研修計画に沿って実施しています。資格取得や資格更新のための研修や受験費用はすべて法人負担としました。環境の変化に敏感に対応すべく、固定概念にとらわれない意識改革、サービス向上にチャレンジする意欲と能力、高い倫理観と幅広い知識を持った職員の育成に取り組みました。



目標に向かって Step up エルダー制度実施

新しく入った職員が、さまざまな不安を取り除きながら職場に慣れ、また理論的で根拠のある適切なサービスを提供することができるよう先輩職員が指導する制度です。

- 上半期は毎月エルダー会議を開催し、
- ① 業務の基本をマスターしよう
 - ② 法人、施設の職員、社会人として基本姿勢を身につけよう
- を方針に、基本姿勢と介護の実践の具体的な目標に向かって3か月間実践し、その評価を行いました。

ノーリフティングケア



職員、ご利用者双方において安全で安心な持ち上げない、抱え上げない、引きずらないケアの研究を開始しました。

新人職員目標達成チェックシート

入職年月日: _____ 年 月 日 氏名: _____

- ①業務の基本をマスターしよう
- ②法人、施設の職員、社会人として基本姿勢を身につける

評	1.未経験	0
価	2.あまりできていない	1
基	3.だいたいできている	2
準	4.ほとんどできている	3

	到達目標	1か月目		2か月目		3:
		Y	E	Y	E	Y
基本姿勢	法人の理念・目標・概要が理解できている					
	挨拶・返事・笑顔ができる					
	身だしなみを整えている					
	無断で遅刻・欠勤をしない					
	報告・連絡・相談ができる					
	整理・整頓・後始末ができる					
	自分の職務管理ができる					
	自分のスキルアップに努めている					
	1・食事、水分補給について					
	食事の準備・後始末ができる					
介護の実践	利用者に合わせた食事の介助ができる					
	水分補給ができる					
	口腔ケアができる					
	2・排泄について					
	プライバシーに配慮した排泄ケアができる					
	排泄介助の準備、後始末ができる					
	残存機能を生かした援助ができる					
	パットの種類を理解し、交換ができる					
	3・入浴について					
	入浴に関するケアができる					
実践	特殊浴槽の操作ができる					
	浴室の清掃ができる					
	4・その他の介護について					
	体位交換ができる					
	安全な起居・移乗・移動介助ができる					
	安楽に衣類の着脱の介助ができる					
	利用者を中心とした考え方ができる					
	シーツ交換・環境整備ができる					
	ケアプランが理解できる					
	カンファレンスで発言できる					

地域共生 Community involvement



光仁会富竹の里は、施設サービス・在宅サービスの事業所内運営に止まらず、地域と共に歩み続けています。施設サービスをご利用されるお一人おひとりが、地域の一員として、この地に暮らし続けることを大切にしています。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で、地域とつながり取り組む活動が困難となりました。外出自粛や「3密」の回避で、交流会等は中止。つながることを大切にする活動方針が根本から覆されました。様々な工夫でつながりを再開する試みを始めます。

盆供養

お盆はご先祖様の霊を祀る伝統的行事であり、日本人が大切にしてきた行事の一つです。特別養護老人ホームでは、地元、曹洞宗の大寺信叟寺（しんそうじ）の第23代ご住職により、盆供養を執り行いました。今年も、3密を避けるため、インカムを利用するなど感染対策を行いながら実施いたしました。



ご長寿をことほぐ

富竹の里デイサービスセンターにて敬老会を開催しました。本来であれば、様々な地域の団体の皆様による催し物を開催するのですが、コロナ禍のため中止し、職員によるダンスや演芸を披露しました。



運営推進会議の開催

地域密着型サービスを運営する「富竹の里和み」と「上松ホーム」では、2月に1回開催し、活動状況を報告し、必要な要望、助言をお聞きしました。提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、地域に開かれたサービスにしていくことで、サービスの質の確保を図ることを目的としています。

1987年（昭和62年）の開所以来、ずっと続いてきた「富建千引神社神楽保存会 富建千引神社 秋祭り」や「ふるさと青少年太鼓道場のみなさんによる演奏」「東富竹諏訪社 秋祭り」「聖徳保育園さんとの交流」「みすず雅楽会さんの演奏」は、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、中止となりました。

安全第一 Safety first



火災・地震に加え、ゲリラ豪雨などが頻繁に起こるようになった日本では、いつでも、どこでも大水害が発生するという前提で備えをする必要があります。

光仁会富竹の里においても、荒ぶる自然災害に伴う被害軽減策に対するさらなる取り組みを実施しました。

水害を想定した協定施設への避難訓練

富竹の里から5.7 km、車で片道20分ほどかかる浸水の影響を受けない施設への避難訓練を実施しました。

東日本台風では、過去の経験とそれに基づく避難計画と訓練がとても役立ちました。

道路状況、駐車場所、施設入口と内部構造など避難だけではなく総合的な把握も含めた訓練を実施しました。



階段昇降訓練と古里小学校・柳原小学校下見



昨年の台風第19号の勢力を超える台風への備えや新型コロナウイルスの発生による協定施設への避難が困難となった場合等を想定し、階段昇降訓練を実施しました。

緊急事態とはいえ、ご利用者の心身の状態に応じた対応をしなければ、重大な事故につながる恐れがあることから、車いす、担架2種類を使用し、その特徴についても確認しました。

1階から2階まで約35秒。担架への乗せ降ろしも含めれば、優に1分を超えました。

避難場所の確認は非常に重要です。

「こうなったらここに避難する」、

「こうなりそうだからあそこへ避難する」など、柔軟な避難判断基準と複数の避難場所の選定ができていても、車をどこに止め、どこから入り、段差があるならどのようなスロープが必要なのか、トイレや教室の場所・大きさ・数、空き教室などの物品の移動は誰がどこにするのかなど、確認すべき事項は多々あります。

小学校への避難は課題が多く、現実的ではないことがわかりました。



災害時職員参集アンケート

BCP（事業継続計画）の作成及び危機管理意識の高揚を図るため、大地震が発生した場合の職員参集状況についてのアンケートを実施しました。アンケートは、以下の前提条件（2通り）に発生したことを想定して行いました。

想定① 7月25日（土）午後2時 長野盆地西縁断層帯 地震発生 長野市震度7

想定② 7月28日（火）午前5時 南海トラフ 地震発生 長野市震度6

結果は、ホームページで公表しました。



災害時職員参集アンケートを実施しました

富竹の里では、BCP（事業継続計画）の作成及び危機管理意識の高揚を図るため、大地震が発生した場合の職員参集状況についてのアンケートを実施しました。アンケートは、以下の前提条件（2通り）に発生したことを想定して行いました。

【前提条件】

想定① 7月25日（土）午後2時 長野盆地西縁断層帯地震発生 長野市震度7
想定② 7月28日（火）午前5時 南海トラフ地震発生 長野市震度6

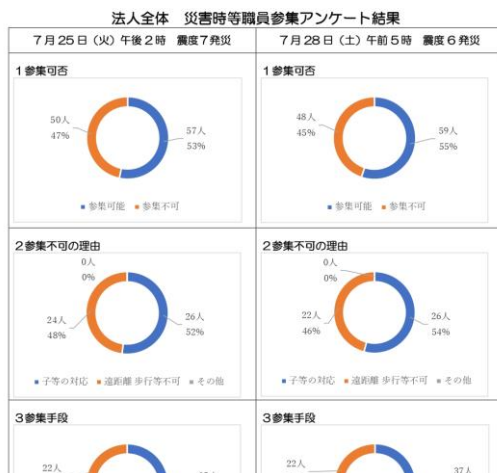
○車・バイク、電車・バス等の公共交通機関は使用できない。
○保育園・小中学校・児童館・児童センター・子どもプラザ・児童クラブが休業する。
○自宅に被害はない。

＜今回の調査結果（法人全体）＞

(1) 回収率：100%（対象者107人）
(2) 参集者数等（累計）

【想定①】

- 1 参集可否
参集可能57人（53%）、参集不可50人（47%）
- 2 参集不可の理由
子等の対応26人（52%）、遠距離歩行等不可24人（48%）、その他0人（0%）
- 3 参集手段
22人（55%）、35人（85%）



停電時対応訓練



～やってみて初めて気付く災害への備え～

福祉施設ではご利用者の生活を支えるための様々な機器を使用しています。

その動力源である電気が止まってしまった場合、普段どおりの生活機能は停止してしまいます。

近年は台風や地震による大規模停電が各地で発生しており、停電が発生した場合の対応訓練の重要性は増えています。

このことから、大規模停電が発生した場合、どのように対処すべきか訓練をとおして学びました。



洪水時の避難確保計画

社会福祉法人光仁会富竹の里

特別養護老人ホーム富竹の里
富竹の里ショートステイホーム
特別養護老人ホーム富竹の里和み
富竹の里デイサービスセンター

2020年8月 作成

避難確保計画届出

水防法等の一部改正により、要配慮者利用施設は洪水時の避難確保計画の作成が義務化されているため、長野市へ届出を行い、受理されました。

「計画は作って終わりじゃない、始まりだ。常に確認と訓練が必要」です。

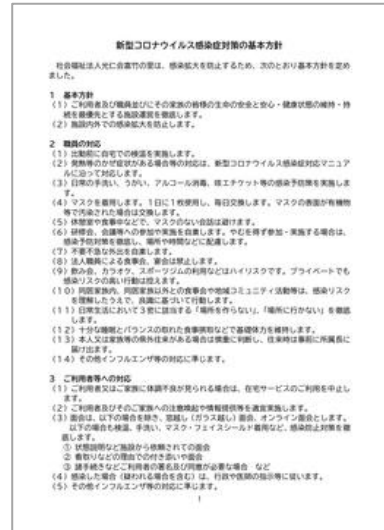
新型コロナウイルス感染症の基本方針等作成

社会福祉法人光仁会富竹の里では、COVID-19感染拡大を防止するため、基本方針を定めました。

高齢者や基礎疾患を持つ方の生活や生命を守る大切な使命を負っていることを重く受け止め、

- ①ご利用者及び職員並びにその家族の生命の安心と安全・健康状態の維持・持続を最優先します。
- ②感染拡大を防止します。
- ③人権を尊重します。

また、「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル・発生時における業務継続計画（BCP）」を作成しました。



テレビ電話面会・ZOOM会議・テレワークの取り組み



タブレットパソコンや施設内のWi-Fi環境等を整備し、無料通信アプリLINE（ライン）を使用したテレビ電話面会や、ZOOMを利用した研修会・会議へ参加しました。

長野市地域包括支援センター富竹の里では、新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、地域の皆様の安全安心な生活を支えるための業務継続執行体制の確保を図ることを目的として、交代制でのテレワークを実施しています。



特別休暇付与・慰労金（法人独自）支給

本人や同居する家族等に体調不良があった場合は出社停止とし、必要な検査を受けられるよう徹底しました。

その際は特別休暇とし、有休休暇を消費せず休める環境にも配慮しました。

コロナ発生から1年の2020年12月、ストレスを抱えながらも日々奮闘する全職員（派遣職員含む）に感謝の意を込め、法人独自での慰労金を支給しました。

チームケア Team care



「従業員満足なくして顧客満足なし」

職員が自分の職場や仕事に誇りを持ち、働きやすく働きがいを得られ、お互いの信頼関係のもとで、持てる能力をフルに発揮できる職場環境の整備を進めています。今後も、ワーク・ライフ・バランス支援、ダイバーシティの推進をとおして、職員の確保、働きがいや生きがいの向上、新しい発想や価値創造の実現を目指します。

一般事業主行動計画の策定

職員が仕事と子育てを両立させることができ、全職員が働きやすい環境を作ることによって、個々の職員の能力を十分に発揮できるよう行動計画を作成しました。

目標は、「男性職員の育児休業または子の看護休暇の1名取得」を目指し、

- ①育児休業を取得した職員から育児休業中の体験談収集
- ②朝礼等を通じて育児休業の体験談を発表し、育児休業制度の理解と取得促進の強化を図るとし、取り組みました。

「くるみん」に認定されました



「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けました。

「従業員満足なくして顧客満足なし」
職員が自分の職場や仕事に誇りを持ち、働きやすく働きがいを得られ、お互いの信頼関係のもとで、持てる能力をフルに発揮できる職場環境の整備を進めました。今後も、ワーク・ライフ・バランス支援、ダイバーシティの推進をとおして、職員の確保、働きがいや生きがいの向上、さらには新しい発想や価値創造の実現を目指します。



年次有給休暇の取得促進

	事業所名	平均取得日数
1	特別養護老人ホーム富竹の里	8.9日
2	富竹の里ショートステイホーム	8.9日
3	特別養護老人ホーム富竹の里和み	9.5日
4	介護付有料老人ホーム上松ホーム	11.2日
5	富竹の里デイサービスセンター	9.8日
6	富竹の里ホームヘルプセンター	9.2日
7	光仁会富竹の里介護支援センター	17.8日
8	長野市地域包括支援センター富竹の里	9.0日
9	事務所	11.3日

令和3年3月31日在籍職員

質の高い死 Quality of death



私たちは、ご利用者の人生の最期のフェーズに携わり、エンディングストーリーを適切につくり上げていく役割があります。ご利用者との会話をとおして、想いを尊重し、納得できるプロセスをガイドすることが責務だと思っています。百人いれば百通りの生き方、逝き方がある。人生の最期まで尊厳ある生活（その人らしい生活）を支援します。

看取り介護をさせていただいたご利用者数

事業所名	退所者数	看取り実施者数
特別養護老人ホーム富竹の里	28	15
特別養護老人ホーム富竹の里和み	7	5
介護付有料老人ホーム上松ホーム	8	6
合計	43	26

本人・家族と対話を重ね後悔のない最終章のお手伝い

「母さんがこないだ、“一度でいいから歯ごたえのあるものが食べたい”と言っていたので、本人が食べたいものが食べられれば一番いいですね。大好きだった松茸のお吸い物の味…飲めるうちにくれてあげたい。」とのご家族の意向。

ある日の日曜。前日の夜から施設に泊まり込んでくれた息子さん。母親の好きな松茸のお吸い物を作るため、朝いったん帰宅されました。

お昼前、ご家族3人での面会。昔住んでいた家の近くの山で採れた松茸を使い、瓶に詰めてくれたお吸い物。瓶を開けた瞬間、松茸のいい香りが部屋中に漂いました。少し眠そうだったお母さんも、息子が作ってくれた松茸をじっと見つめ、「ありがとう…」とか細かい声で喜んでくださり、コップ半分ほど飲むことができました。ご家族全員笑顔があり、当時に戻れた時間を沢山写真に収め、思い出作りのお手伝いことができました。

「〇〇が食べたい」「家に帰りたい」「この人には会わせたい」・・・ご利用者やご家族が叶えたい真の望みを汲み取る事、それを実際叶えるために沢山話し合い実行する事も、大切な看取り介護の実践です。

振り返り (Conference)

看取り支援をさせていただいた後には必ず振り返りを行います。してあげられた事、してあげられなかった事、こういう時はどうすればよかったのか等。職員同士はもちろん、ご家族にもお話を伺います。そこには、達成感や後悔、看取りに対する不安な心情も垣間見えます。身をもって語りかけてくださるご利用者の姿に、私たちは様々なことを学び、また次の看取り支援に繋げていきます。

職員の皆様へ

義母が入所中、大変お世話になりました。
住み慣れた場所から、直接施設の方へ住居を移し、
母も不安な日々を過ごしたのではないかと心配していましたが、
スタッフの皆様のおかげで最後は、穏やかに旅立つことが出来ました。
ありがとうございました。
心より感謝いたしております。

家族



ご家族から温かい感謝のお言葉を頂戴しました。ご家族の希望もあり、このお手紙を職員全員に配布しました。

事業所毎の利用率等

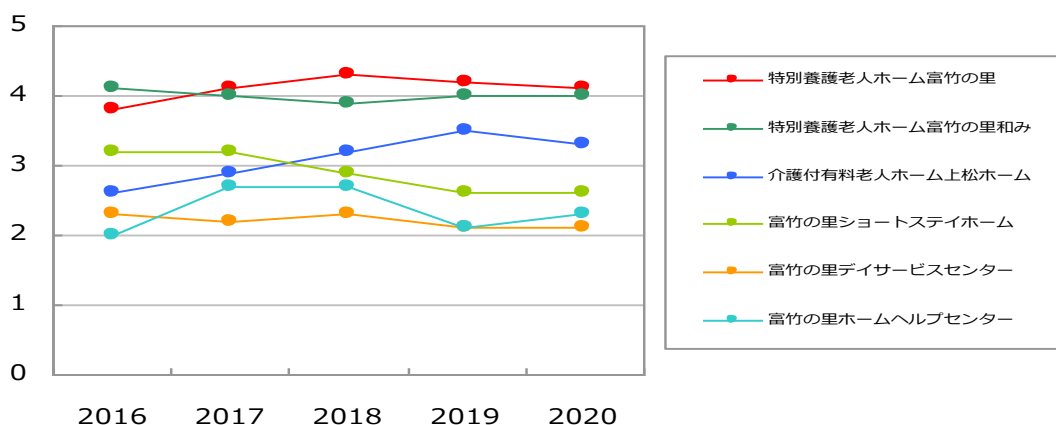
事業所名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
特別養護老人ホーム富竹の里	97.7	94.2	96.4	98.0	94.0
特別養護老人ホーム富竹の里和み	97.9	98.9	97.6	96.0	94.4
介護付有料老人ホーム上松ホーム	95.3	94.6	95.9	94.3	94.8
富竹の里ショートステイホーム	81.7	76.1	81.4	83.2	78.1
富竹の里デイサービスセンター (介護保険、相当サービス)	83.4	77.0	76.5	73.9	73.1
富竹の里デイサービスセンター (通所型基準緩和サービス)	46.3	44.5	40.8	35.1	43.3
富竹の里ホームヘルプセンター (介護保険、相当サービス)	3861 : 35	3897 : 49	3403 : 31	2582 : 45	2477 : 29
富竹の里ホームヘルプセンター (障害福祉サービス)	1248 : 00	1074 : 30	595 : 00	392 : 30	847 : 00

事業所毎の平均年齢

事業所名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
特別養護老人ホーム富竹の里	89.3	88.8	88.6	88.5	87.8
特別養護老人ホーム富竹の里和み	87.8	88.8	89.4	88.7	89.4
介護付有料老人ホーム上松ホーム	87.3	88.1	89.4	90.5	90.7
富竹の里ショートステイホーム	87.3	87.9	89.0	89.5	90.0
富竹の里デイサービスセンター (介護保険、相当サービス)	86.5	87.5	87.9	87.9	88.3
富竹の里デイサービスセンター (通所型基準緩和サービス)	76.3	80.2	81.5	82.1	83.1
富竹の里ホームヘルプセンター (介護保険、相当サービス)	85.5	85.0	85.5	86.7	85.1
富竹の里ホームヘルプセンター (障害福祉サービス)	53.5	46.2	52.4	45.1	45.0

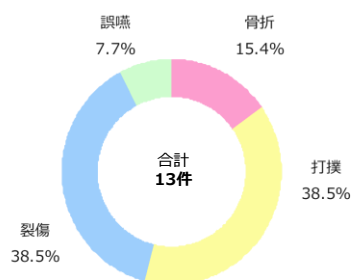
事業所毎の平均介護度

事業所名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
特別養護老人ホーム富竹の里	3.8	4.1	4.3	4.2	4.1
特別養護老人ホーム富竹の里和み	4.1	4.0	3.9	4.0	4.0
介護付有料老人ホーム上松ホーム	2.6	2.9	3.2	3.5	3.3
富竹の里ショートステイホーム	3.2	3.2	2.9	2.6	2.6
富竹の里デイサービスセンター	2.3	2.2	2.3	2.1	2.1
富竹の里ホームヘルプセンター	2.0	2.7	2.7	2.1	2.3



事故報告件数

種類	件数
骨折	2
打撲	5
裂傷	5
誤嚥	1
合計	13

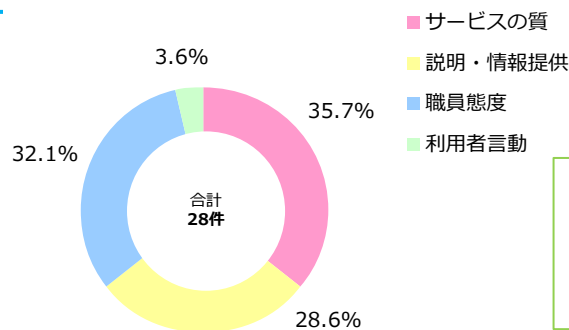


私たちは、長野市介護保険事故報告事務取扱要領に従い、介護保険サービス提供に当たり、以下の報告対象に該当する事故等が発生した場合は、長野市に報告を行っています。

- 1.利用者が死亡または負傷※した場合
※負傷とは、医師の保険診療を要したものの。
- 2.利用者が無届で外出し、警察・消防等に捜索協力を依頼した場合
- 3.その他事故により、利用者家族等から苦情が出ている場合

相談苦情件数

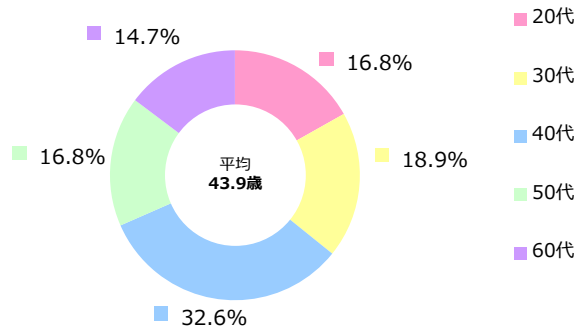
種類	件数
サービスの質	10
説明・情報提供	8
職員言動	9
ご利用者言動	1
合計	28



苦情解決第三者委員会を開催し、発生したすべての相談・苦情・介護事故について報告し、助言指導を頂きました。

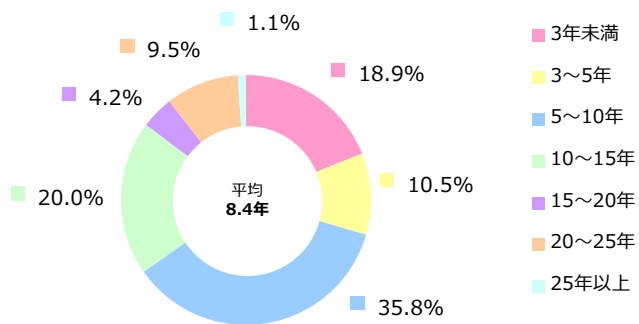
Staffの年齢割合

年代	人数
20代	16
30代	18
40代	31
50代	16
60代	14



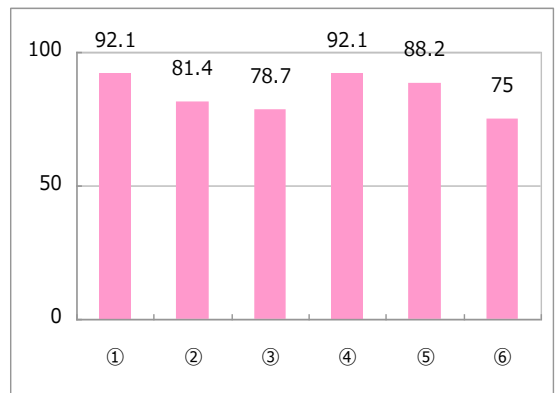
Staffの勤続年数

年代	人数
3年未満	18
3～5年	10
5～10年	34
10～15年	19
15～20年	4
20～25年	9
25年以上	1



事業所毎（介護職員）の介護福祉士保有者数

	事業所名	保有率
①	特別養護老人ホーム富竹の里	92.1
②	特別養護老人ホーム富竹の里和み	81.4
③	介護付有料老人ホーム上松ホーム	78.7
④	富竹の里ショートステイホーム	92.1
⑤	富竹の里デイサービスセンター	88.2
⑥	富竹の里ホームヘルプセンター	75.0

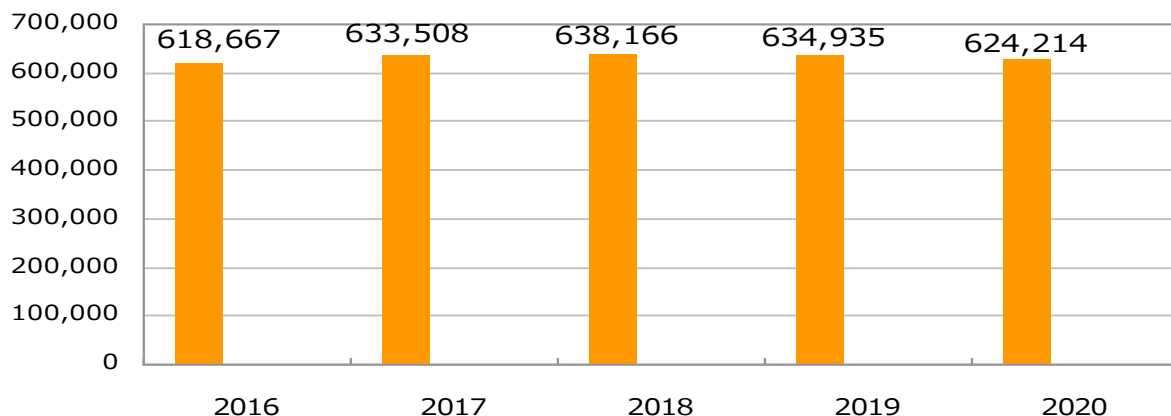


財務ハイライト Financial highlights

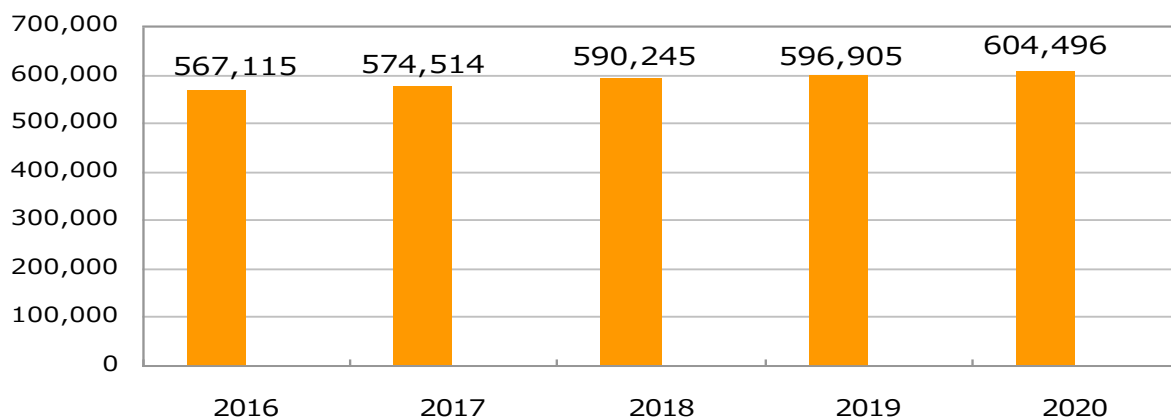
単位：千円

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
事業活動収入	618,667	633,508	638,166	634,935	624,214
事業活動支出	567,115	574,514	590,245	596,905	604,496
事業活動収支差額	51,552	58,994	47,921	38,030	19,718

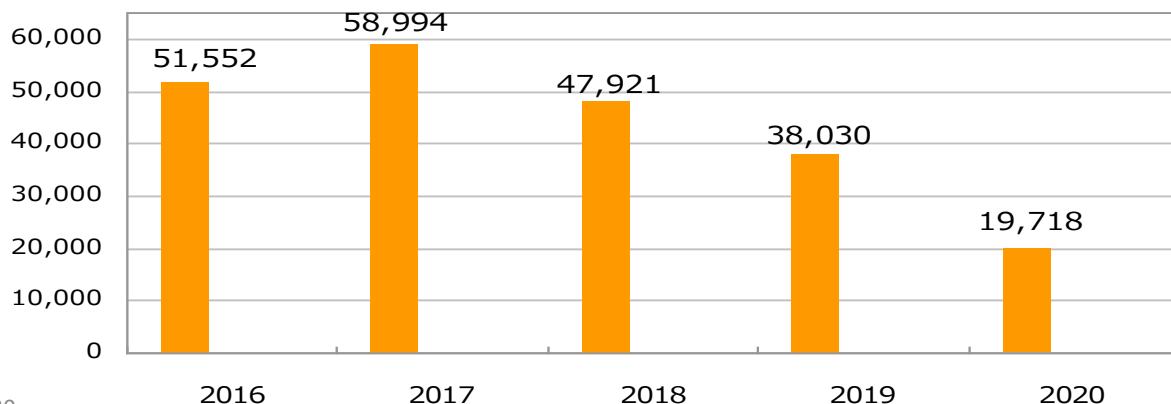
事業活動収入 Revenues



事業活動支出 Expenditures



事業活動収支差額 Total balance for the term



特別養護老人ホーム富竹の里（定員52名） 富竹の里ショートステイホーム（定員12名）



新型コロナウイルス感染予防対策により、毎年行われるご家族や地域の皆様との交流行事がほぼ中止せざるを得ない一年でありました。そのための対応の一例として、家族の絆に深く関わる面会は、窓越しやスマートフォン、タブレット端末等を利用したビデオ面会に切り替えたり、手紙や写真でご様子を伝えました。看取りの際は、「家族にいてほしい」「最期に寄り添いたい」そんな願いをコロナで阻んではならないと、医師との連携や十分な健康チェックと衛生管理の徹底などを行うことで、出来るだけ普段と変わらない対応を実践いたしました。

ご利用者の利用状況（R3.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
9人	42人	51人	103歳	60歳	29年	2年8か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	8人	30人	13人	51人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
0人	0人	2,812人	9,549人	5,484人	17,845人	48.9人

（富竹の里ショートステイホーム）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
0人	3人	526人	1,469人	742人	499人	180人	3,419人	9.4人

特別養護老人ホーム富竹の里和み（定員20名）



感染症予防対策により、面会や行事の中止など制限のある生活となっておりますが、ご利用者が安心して「暮らしの継続」ができるよう、面会方法の工夫や写真や手紙などでご家族に日頃の生活をお知らせしました。「尊厳のある生活」を送ることができるよう看取りへの取り組みや職員の知識・ケアの向上に努めました。6回の運営推進会議を開催しましたが、内4回は感染症対策により書面開催となりました。長野市職員、区長、家族会代表者、民生児童委員、地域包括支援センター職員に提供しているサービスの内容等の報告や説明を行い、ご意見等を賜りました。

ご利用者の利用状況（R3.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
4人	16人	20人	103歳	70歳	10年	3年0か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	6人	5人	9人	20人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
0人	0人	2,426人	2,130人	2,335人	6,891人	18.9人

介護付有料老人ホーム上松ホーム（定員24名）



新型コロナウイルス感染防止対策を日々徹底しながら、ご利用者の希望や生活スタイルに配慮した支援を基本とし、出来る生活行為や過去の生活習慣を大切に維持できるよう支援しています。平均介護度も3.3と重度化が進んでいます。上松ホームでの看取りを希望されるご家族も多く、退所される時には安堵されたご様子で退所された方も多くいました。台風等の災害の被害もなく安定した経営、運営となりました。

ご利用者の利用状況（R3.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
6人	17人	23人	100歳	80歳	12年	5年

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
5人	5人	3人	8人	2人	23人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
1,484人	924人	866人	3,419人	1,609人	8,302人	22.7人

富竹の里デイサービスセンター（定員35名）



通所介護・介護予防通所介護相当サービスでは、ご利用者の身体機能、生活機能の維持・向上を目指し、理学療法士、機能訓練指導員を配置し、ご利用者一人ひとりの目標、身体状況、意欲に合わせた個別機能訓練を充実させて実施しました。様々なメニューの中から選択する個別レクリエーション活動やご利用者全員での共同作品作りなどを行い、季節ごとの行事も開催しました。

通所介護では、ご利用者のADLが一定の評価期間のなかで維持できていると認められ、ADL維持等加算を算定しました。また、中重度（要介護3以上）のご利用者の割合、職員体制の基準を満たし中重度ケア体制加算を算定しています。

通所型基準緩和サービス「いきいきクラブ」は、金曜日（午前午後）、火・水曜日（午後）実施し、介護予防・自立支援・社会参加を目指した目標を設定し、機能訓練・脳トレ等の活動を中心に実施しました。

新型コロナウイルス感染症予防のため、テーブルの上にアクリル板を設置し、換気・消毒を徹底するなど予防対策を実施しました。長野市の感染者数が多くなると、コロナ予防のため、デイサービスを休まれる方も増え、安定したご利用者の確保が難しい状況でした。

ご利用者の利用状況

【介護保険・相当サービス】

- ・新規契約者 29名
- ・契約終了者 22名（死亡7、特養入所6、有料施設入所2、入院4、その他3）

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
123人	213人	1,315人	3,449人	1,674人	682人	1,207人	602人	9,265人	25.6人

【通所型基準緩和サービス】

- ・新規利用者9名
- ・契約終了者5名

事業対象者	要支援1	要支援2	合計	1単位平均
936人	331人	193人	1,460人	6.5人



富竹の里ホームヘルプセンター



高齢者、障がい者のご利用者の在宅生活に寄り添い、安心して楽しく健康的に過ごせるように意向をしっかりと聞きながらサービス提供をさせていただきました。また、ご利用者やご家族の悩みや介護の相談などにもしっかりと耳を傾け地域・サービス事業者と連携を図り、満足と信頼をいただけるよう努めました。

介護保険での利用が行えない方々には自費サービスの提供をさせていただきました。

障がい移動支援につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のためご利用者と相談させていただきながらサービスを提供いたしました。

ご利用者の利用状況

【介護保険・相当サービス】

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
236回	321回	468回	561回	207回	822回	47回	34回	2,696回
236 : 00	321 : 00	468 : 00	412 : 44	186 : 30	779 : 15	38 : 30	35 : 30	2477 : 29

【障害福祉サービス】

931回
847 : 00

【移動支援事業】

12回
33 : 50

【自費サービス】

12回
17 : 10

光仁会富竹の里介護支援センター



新型コロナウイルス感染症によりご利用者にとっても今までとは異なる生活状況となった中、その方に応じた相談、提案、支援を行いました。病院や各関係機関とリモートで会議開催をするなど、連携強化を図りました。

契約終了は47件でしたが、ご自宅での看取りを選択され契約終了となるケースが20件と多くあり、人生の最終段階までその人らしく生活ができるように支援させていただきました。

新規の依頼では地域包括支援センターや病院からの依頼で、介護保険認定前の段階から関わらせていただくことが多く、各関係機関との密な連携や迅速な対応を行い、スムーズに在宅生活が送れるような調整支援をさせていただいております。

ご利用者がより自立した在宅生活を送れるよう適切な相談援助を行い、サービス事業者や医療、インフォーマルサービス等との連携を図りながら居宅介護サービス計画書の作成を行いました。

ケアプラン作成件数等

介護給付	延べ1,205件
介護予防給付	延べ72件
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	延べ39件
新規利用 ・介護 ・介護予防 ・介護予防マネジメント	47件 3件 0件
入院時連携加算	50回
退院・退所加算	15回
契約終了	47件

契約終了内訳

- ・死亡20名
- ・特養入所10名
- ・介護付有料老人ホーム入所8名
- ・グループホーム入所2名
- ・居宅サービス利用中止3名
- ・長期入院1名
- ・予防給付へ移行3名

長野市地域包括支援センター富竹の里



地域包括支援センターは、福祉・保健・医療などに関する高齢の皆さんの総合相談窓口としての役割があります。社会福祉士・保健師（看護師）・主任ケアマネジャーの専門職が配置されています。今年度は新型コロナ感染の流行があり感染症対策で在宅ワークを導入しました。

- ・総合相談支援事業については、高齢の皆様やご家族、地域からの生活全般の悩みや相談について必要な支援につなぎ支援します。今回は感染予防に十分注意し短時間での訪問や電話での聞き取りを行いました。また、認知症の方のご相談や高齢の皆様の実態把握により、支援の必要な方への早期対応に努めました。
- ・権利擁護事業については、支援が必要な高齢の方が適切な福祉サービスや金銭管理の支援が受けられるよう成年後見制度の活用や虐待の未然予防や対応を行いました。また、消費者被害にあわないように情報収集し、必要な支援を提供しました。
- ・包括的継続的ケアマネジメント事業については、コロナ感染予防のため今回はケアマネジャー研修会は中止し、個別にケアマネジャーからの相談に対応しました。
- ・介護者教室及び介護予防教室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。
- ・介護予防ケアマネジメント事業については、介護保険の認定が要支援1・2の方及び事業対象者（基本チェックリストにより、国の基準に該当した要支援相当の方）のサービス計画を作成し、自立した生活を目指して支援しました。

ケアプラン作成件数等

予防給付ケアプラン作成数	143件
総合事業ケアプラン作成数	188件
総合事業基本チェックリスト実施数	41件
介護予防給付件数	1,260件 うち委託342件
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	1,280件 うち委託200件

相談件数

介護保険	381件
住宅福祉サービス	75件
施設・住まい	26件
医療	55件
高齢者虐待	53件
成年後見制度	18件
介護者の離職防止	2件
消費者被害	1件
その他	64件
合計	675件

主な会議・研修会への出席

会議・研修名	回数
民生委員定例会（古里・長沼・柳原地区ケア会議）	36回
長野市高齢者虐待防止ネットワーク運営協議会	1回

令和2年（2020）7月豪雨

河川等の状況とその対応

	河川等の状況	対応	詳細
7/6（月）	7月1日からの降雨量 犀川流域 1,162.0 mm 千曲川流域 1,045.5 mm 立ヶ花観測所最高水位（24時）2.75m ※ 2020年7月最高水位	<ul style="list-style-type: none"> ・長野市危機管理防災課連絡 今後の予測等確認 ・いつわ苑連絡（避難受入確認） ・入口用水路増水時の対策 用水と道路のさかいにポール2本設置 	
7/7（火）	7月1日からの降雨量 犀川流域 1,529.5 mm 千曲川流域 1,154.0 mm 立ヶ花観測所最高水位（24時）3.66m	<ul style="list-style-type: none"> ・避難物品用意 ・送迎車ガソリン確認 ・通所介護受入調整確認 	
7/8（水）	06時30分 岐阜県大雨特別警報発表 06時43分 長野県大雨特別警報発表 08時00分 浅川富竹観測所水位 1.7m 立ヶ花観測所最高水位（8時）4.14m 7月1日からの降雨量 犀川流域 2,100.0 mm 千曲川流域 1,631.0 mm 立ヶ花観測所最高水位（18時）7.31m ※ 2020年7月最高水位更新 13時08分 小田切ダム全開 立ヶ花から上流にかけ、 畑浸水の予測を確認	06時50分頃 事務職員等招集 全利用者起床 利用者・職員トリアージ 通所介護受入調整 07時00分 危機管理防災課連絡 07時05分 高齢者活躍支援課連絡 07時07分 給食委託業者連絡 07時30分 いつわ苑連絡（受入可） 07時41分 職員緊急参集連絡 07時45分頃 用水路はん濫（冠水無） 08時00分 高齢者活躍支援課連絡 （避難許可） 08時03分 避難決断・避難開始 08時10分 ご家族一斉連絡（1報） 10時04分 ご家族一斉連絡（2報） 14時35分 ご家族一斉連絡（3報） 16時12分 ご家族一斉連絡（4報） 09時40分 雨止み 避難中断 11時30分 避難再開 14時00分 避難完了（約4時間）	
7/9（木）	10時12分 小田切ダムの余裕確認 千曲川・犀川水位低下確認	避難2日目 09時45分 ご家族一斉連絡（5報） 10時30分 戻り決定 10時56分 ご家族一斉連絡（6報） 12時30分 戻り開始 15時30分 戻り完了（約3時間） 16時14分 ご家族一斉連絡（最終報）	

社会福祉法人光仁会富竹の里
発行 2021年5月
責任者 施設長 嶋田 直人
〒381-0006 長野市大字富竹1621番地
TEL026-296-7383 FAX026-296-7384
<http://tomitake-carenet.com>